

## 第5章

---

### 地域別構想



秋

## 第5章 地域別構想

### 1. 地域別構想の示し方

#### (1) 地域別構想の趣旨

- ① 地域の特性を踏まえ、身近な地域単位のまちづくりの方針を示します。
  - ・「第3章 まちづくりの目標」においては、まちづくりの将来像や目標等、七戸町全体のまちづくりの方針が示され、「第4章 全体構想」においては、七戸町全体のまちづくりにおける部門別の方針が示されています。そして、「第5章 地域別構想」ではそれぞれの地域の現況や課題を把握し、地域の特性を踏まえたまちづくりの方針を示します。
- ② 住民の意向を反映した地域の将来像や方向性を示します。
  - ・住民参加によるまちづくりの展開を図るため、住民アンケート調査の結果等を基に住民の意向を反映し、住民に身近でわかりやすいまちづくりの方向性を示します。
- ③ より具体的な地域施策の方向性を示します。
  - ・まちづくりの目標や全体構想を踏まえ、具体的な地域施策についての方向性を示します。

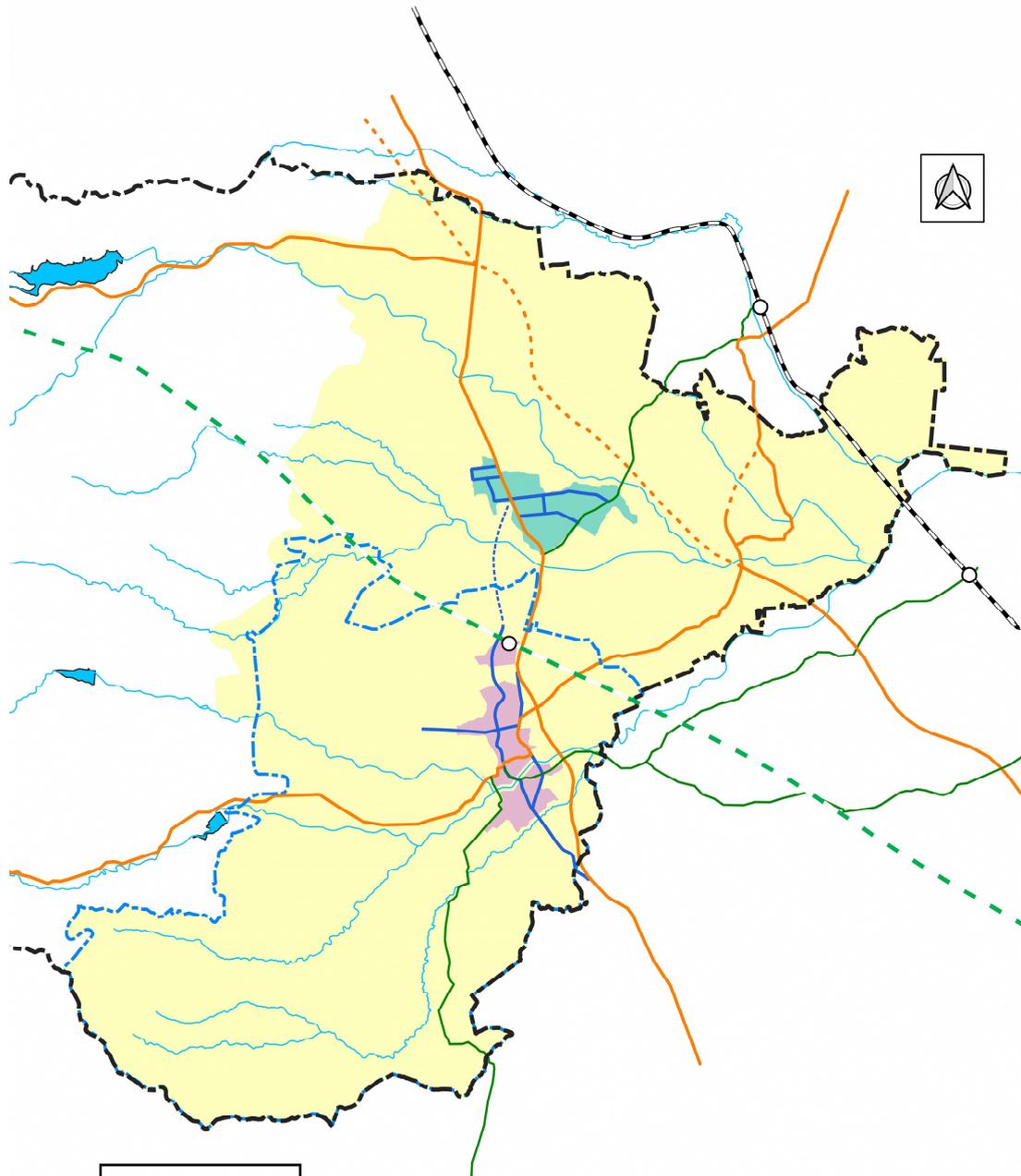
#### (2) 地域別構想の構成

- ① 地域の現況
  - 1) 位置と概況
  - 2) 都市計画の概況
- ② 地域の特性と課題
  - ・第2章におけるまちづくりの課題や住民アンケート調査の結果等から都市基盤の整備、機能強化、環境保全、定住促進などについての特性及び課題を抽出します。
- ③ 地域の将来像と地域づくりの方針
  - 1) 地域の将来像
    - ・地域ごとの将来像、地域づくりの目標を決定します。
  - 2) 地域づくりの方針
    - ・具体的な地域づくりの方針を示します。
  - 3) 地域づくりの方針図

## 2. 地域区分

地域の区分は、これまでの地区行政の経緯、都市計画区域等の指定状況などを考慮しつつ、既存の生活圏や地形的なまとまりなどに配慮し、下記の3地域に区分します。

### 地域区分図



地図の凡例	
	新幹線
	青い森鉄道
	広域軸
	地域軸
	地域内幹線道路
	市町村界
	都市計画区域
	河川

地域区分の凡例	
	七戸市街地地域
	天間林市街地地域
	田園集落地域

### 3. 地域別構想

#### I. 七戸市街地地域

##### (1) 地域の現況

###### ① 位置と概況

- ・本地域は七戸都市計画区域内の北東部に位置し、東側を国道4号が南北に縦断し、中央部を国道394号が東西に横断しています。
- ・本地域の南部を高瀬川（七戸川）が西から東に流れており、川の北側に古くから栄えてきた中心商店街が形成されています。
- ・高瀬川（七戸川）に向かって傾斜した地形に市街地が形成されており、坂道が多くなっています。
- ・本地域は七戸町役場七戸支所を中心とした商業・業務地、周辺の住宅地、蛇坂地区の公共公益施設集積地及び七戸十和田駅周辺の新市街地で構成されています。

###### ② 都市計画の概況

- ・本地域は、七戸町役場七戸支所周辺に商業系の用途地域が指定されており、その周辺には住居系の用途地域が指定されています。また、工業系の用途地域は主要地方道三沢七戸線と町道北野・荒熊内線の交差点周辺に指定されており、七戸十和田駅周辺の新市街地には商業系の用途地域と住居系の用途地域が指定されています。
- ・本地域の周辺は、一部工業系事業所や公共施設、住宅の立地が見られますが、多くの部分は牧場や田畑が広がっています。

表 5-1-1 主要な都市施設等の状況

主要な道路	国道4号、国道394号、主要地方道三沢七戸線、県道七戸十和田湖線、町道北野・荒熊内線、町道上町野・蒼前線、町道横町・蛇坂・荒熊内線、町道北口・牧場線
鉄道駅	東北新幹線七戸十和田駅
主要な公園・緑地	天神林児童公園、倉越児童公園、高瀬川（七戸川）河川公園
主要な河川	高瀬川（七戸川）
主要な施設	七戸町役場七戸支所、七戸町観光交流センター、公立七戸病院、七戸小学校、城南小学校、七戸高等学校

## (2) 地域の特性と課題

本地域の特性と課題について、地域の現況、住民アンケート調査の結果等を踏まえてまとめると以下ようになります。

### ○地域の現況

- ・市街地を流れる高瀬川（七戸川）の自然や河川公園
- ・高瀬川（七戸川）に向かって傾斜した地形
- ・七戸町役場七戸支所を中心とした商業地及び住宅地、七戸十和田駅を中心とした商業地及び住宅地で構成
- ・商業系、住居系、工業系の用途地域の設定
- ・城下町として古くから栄えてきた中心商店街

### ○住民アンケート調査結果

- ・住み慣れた町への愛着があり定住希望が多い
- ・現況に対応したインフラ整備や交通利便性向上、公共施設の集約化
- ・中心商店街や幹線道路沿い及び七戸十和田駅周辺の商業環境の充実
- ・神社仏閣や歴史的建造物、街並み、伝統芸能、祭りなどへの誇り

### ○特性

- ・本地域は七戸町の中では最も人口が集中し人口密度の高い地域ですが、近年は少子高齢化が進み人口は減少しています。
- ・本地域は高瀬川（七戸川）に向かって傾斜した地形や、多数の沢地が地域内を横断し、坂道や急傾斜地が多く見られます。
- ・市街地を流れる高瀬川（七戸川）が住民に潤いとやすらぎを与えています。
- ・新市街地として七戸十和田駅周辺のさらなる発展が見込まれます。

### ○課題

- ・少子高齢化と人口減少が進み、古くから栄えてきた中心商店街に空き店舗などの低未利用地も多く見られ、活力の低下やにぎわいの陰りが課題となっています。
- ・河川沿いに市街地が形成され、坂道が多いことや城下町の名残から密集した住宅や狭あい道路が見られることから、災害時の安全性が懸念されます。
- ・地域内には歴史・文化的資源が数多く分布しており、これらを維持、保存するとともに観光資源として利活用していくことが必要です。
- ・七戸十和田駅周辺は、観光交流拠点として交流人口の増加も見込んだ土地利用の適正な配置、誘導が必要です。

### (3) 地域の将来像と地域づくりの方針

#### ① 地域の将来像

本地域は、公共公益施設や商業施設の集積を活かし、七戸町の活性化を担う主要な地域であり、七戸十和田駅開業により広がった多様な可能性を活かすため、計画的な都市的土地利用を推進するとともに、受け継がれてきた歴史・文化的資源を保全し、多くの交流人口が行き交うにぎわいのあるまちづくりを目指します。

以上のことを踏まえて、本地域の将来像を以下のように定めます。

～七戸市街地地域の将来像～

歴史と人情が育むにぎわいあるまち

#### ② 地域づくりの方針

##### 1) 土地利用の方針

- 本地域は七戸町の主要地域として、用途地域に適合した都市的な土地利用を推進します。
- 蛇坂地区の公共公益施設集積地は、引き続き都市機能の維持と充実を図ります。
- 七戸十和田駅周辺は、居住機能及び都市機能の誘導を図りながら、社会経済情勢の変化や土地需要の多様化に合わせて適正な土地利用への見直しを検討し、用途地域の変更や拡大等は柔軟に行うこととします。

## 2) 市街地整備の方針

- 中心商店街については、住民や観光客等が訪れやすく、にぎわいある商店街の再生を目指し、歴史的建造物の保全を図りつつ、歩行者の回遊性に配慮した歩行空間の確保及び道路網の整備に努めます。
- 七戸町役場七戸支所周辺の既成市街地については、多様化する災害に対し安全・安心な市街地環境を確保するため、密集市街地道路の改善・改良を図るとともに、建築物の不燃化・耐震性の向上を促進します。また、防災ハザードマップ等を利用して居住地における災害リスクエリアを周知し、住民の防災知識の普及や防災意識の高揚を図ります。
- 七戸十和田駅周辺の新市街地については、観光交流機能や行政サービスなどの都市機能の集積や、道の駅しちのへ（七戸町文化村）などの既存施設との連携による観光交流拠点としての機能強化を図ります。また、商業や住宅等の整備を推奨し、土地区画整理事業の効果を最大限発揮できるよう活性化を図ります。

## 3) 交通体系の方針

- 高瀬川（七戸川）やイベント広場など中心商店街及び歴史的街並み、七戸町役場七戸支所等の公共施設、さらには柏葉公園を相互に歩いて移動できる歩行者回遊ネットワークの構築を図り、歩行者の安全性及び利便性の向上によるにぎわいの再生を推進します。
- 国道4号、国道394号、主要地方道三沢七戸線、県道七戸十和田湖線は、地域の骨格となる広域軸、地域軸であり、町道北野・荒熊内線、町道上町野・蒼前線、町道横町・蛇坂・荒熊内線は広域軸、地域軸と連携し機能を補完する地域内幹線道路として適正な維持管理に努めます。
- 地域内の生活道路は、緊急車両の交通確保などの防災機能向上、坂道が多い道路事情に対応した危険箇所の改善、冬期間の事故防止対策などについて、総合的に長期計画で検討し、通勤・通学路など利用度の高い道路は、優先的に安全性を高める道路施設の設置、冬期間の除雪体制の強化を促進するとともに、安全・安心で快適な道路機能の確保を図ります。
- 都市計画道路の整備にあたっては全路線が整備済みであることから、町道整備計画との整合性を図りながら、維持・更新に努めます。
- 地域住民の重要な交通手段であるコミュニティバスについては、住民ニーズを踏まえつつ、公共交通空白地と市街地を結ぶ運行路線の維持に努めます。

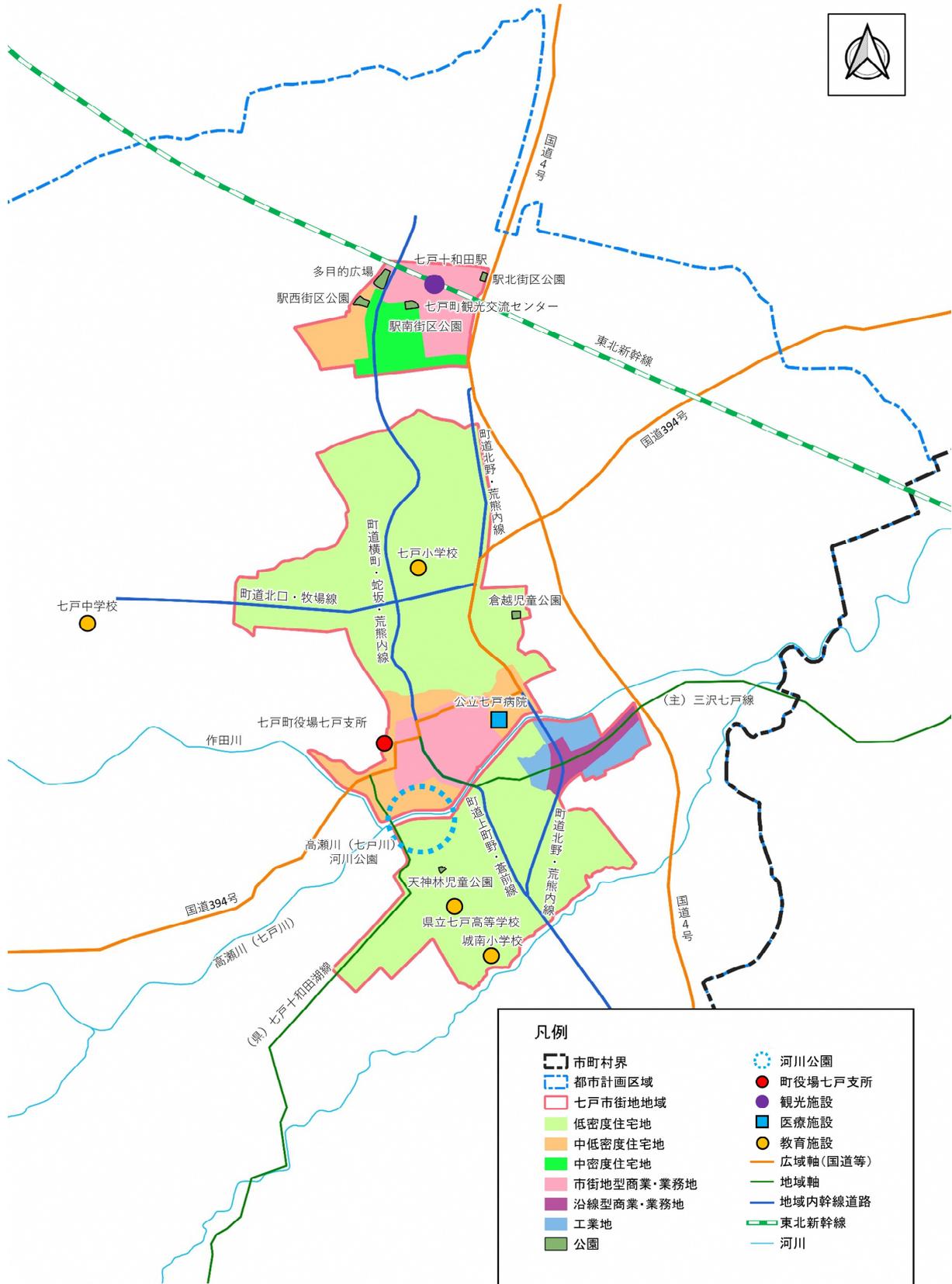
#### 4) その他の地域づくりの方針

- 住民に親しまれている高瀬川（七戸川）の河川公園は、親水・コミュニティ活動の場としての公園機能の充実を図るとともに、住民・企業等と行政が協働で維持管理を実施する体制づくりを推進します。
- 公共下水道の全体計画及び事業計画の見直しを行い、計画的な整備の推進と整備された下水道施設の利用を促進することで、水洗化率の向上を図り、施設の適正な維持管理に努めます。
- 歴史的建造物や街並みの保全を図るとともに、七戸町の花であるつつじの植栽を推進し、歴史と緑が調和した個性ある街並みの形成を図るとともに、地域に根付いた伝統芸能、祭りなどの伝統文化の保全・継承を促進し、歴史・文化的資源を守り後世に伝えていきます。
- 七戸十和田駅周辺を下北半島及び上十三地域の観光交流の玄関口として、七戸町観光交流センターをはじめとする観光交流施設等の機能充実を図ります。
- 七戸十和田駅を起点として地域内外の観光資源をめぐる観光ルートや観光プランについて、住民との協働により検討するとともに、企業との連携を図り、企業活動の中での積極的な七戸町の PR を要請するなど、町内外への情報発信に努め、交流人口増加とにぎわいの創出を促進します。



七戸町役場七戸支所

# 地域づくりの方針図（七戸市街地地域）



## Ⅱ. 天間林市街地地域

### (1) 地域の現況

#### ① 位置と概況

- 本地域は七戸都市計画区域の北側に位置し、地域の南側中央部から北西部にかけて国道4号が縦断し、同じく南側中央部から北東部にかけて県道乙供停車場中野線が横断しています。
- 七戸町役場周辺は平坦地となっていますが、南側に向かって緩やかな下り勾配の傾斜地が形成されています。
- 本地域は七戸町役場を中心とした商業・業務地と、周辺の住宅地で構成されています。

#### ② 都市計画の概況

- 本地域は、都市計画区域が指定されていません。
- 本地域の周辺には、田畑等の農地が広がっています。

表 5-2-1 主要な都市施設等の状況

主要な道路	国道4号、県道乙供停車場中野線、町道天間館・道ノ上線、町道十字路・長下線、町道中野・森ノ上線、町道国道・道ノ上線、町道向中野・道ノ上線、町道道ノ上南線、町道道ノ上・市ノ渡線、町道道ノ上・鳥谷部線
鉄道駅	—
主要な公園・緑地	中央公園
主要な河川	—
主要な施設	七戸町役場、七戸中央公民館、天間林中学校、天間林小学校

## (2) 地域の特性と課題

本地域の特性と課題について、地域の現況、住民アンケート調査の結果等を踏まえてまとめると以下ようになります。

### ○地域の現況

- 全体的に平坦地が広がり、南側に向かって緩やかな下り勾配の傾斜地
- 七戸町役場を中心とした商業地及び住宅地、田畑等の農地で構成
- 都市計画区域が指定されていない

### ○住民アンケート調査結果

- 住み慣れた町への愛着があり定住希望が多い
- 現況に対応したインフラ整備や交通利便性向上
- 幹線道路沿いの農地などは宅地や企業用地として整備すべき意見が多い

### ○特性

- 本地域は七戸町の中でも主要な地域で人口が多い地域ですが、近年は少子高齢化が進み人口は減少しています。
- 都市計画区域は指定されていませんが、計画的に道路が整備され、住宅地と農地ののどかな風景が多く見られます。

### ○課題

- 少子高齢化社会に向けて、コミュニティバス等の交通利便性の向上が必要です。
- 農地と緑を保全し、ゆとりある居住環境の維持や充実が必要です。

### (3) 地域の将来像と地域づくりの方針

#### ① 地域の将来像

本地域は、七戸町役場や農業系業務施設の立地を活かし、農業を中心とした経済活動により七戸町の活性化を担う地域であり、地域内の農地や緑との調和を図り、良好な市街地環境の形成を目指します。

以上のことを踏まえて、本地域の将来像を以下のように定めます。

～天間林市街地地域の将来像～

自然と街並みが調和するみんなに優しいまち

#### ② 地域づくりの方針

##### 1) 土地利用の方針

- ・幹線道路沿いにある未利用地等の宅地化を促進するとともに、商業・業務施設の誘導と公共公益施設の適切な配置により、日常生活の利便性向上を図ります。

##### 2) 市街地整備の方針

- ・七戸町役場周辺は、地域生活に密着した行政サービスの充実や商業振興などによる生活の利便性向上を図るため、主要な生活道路について、歩道などの適正な維持管理に努め、良好な市街地環境の形成に努めます。

##### 3) 交通体系の方針

- ・国道4号、県道乙供停車場中野線は、地域の骨格となる広域軸、地域軸であり、町道天間館・道ノ上線、町道十字路・長下線、町道中野・森ノ上線、町道国道・道ノ上線、町道向中野・道ノ上線、町道道ノ上南線、町道道ノ上・市ノ渡線、町道道ノ上・鳥谷部線は広域軸、地域軸と連携し機能を補完する地域内幹線道路として適正な維持管理に努めます。
- ・地域内の生活道路は、緊急車両の交通確保などの防災機能向上、危険箇所の改善、冬期間の事故防止対策などについて、総合的に長期計画で検討し、通勤・通学路など利用度の高い道路は、優先的に安全性を高める道路施設の設置、冬期間の除雪体制の強化を促進するとともに、安全・安心で快適な道路機能の確保を図ります。
- ・地域住民の重要な交通手段であるコミュニティバスについては、住民ニーズを踏まえつつ、公共交通空白地と市街地を結ぶ運行路線の維持に努めます。

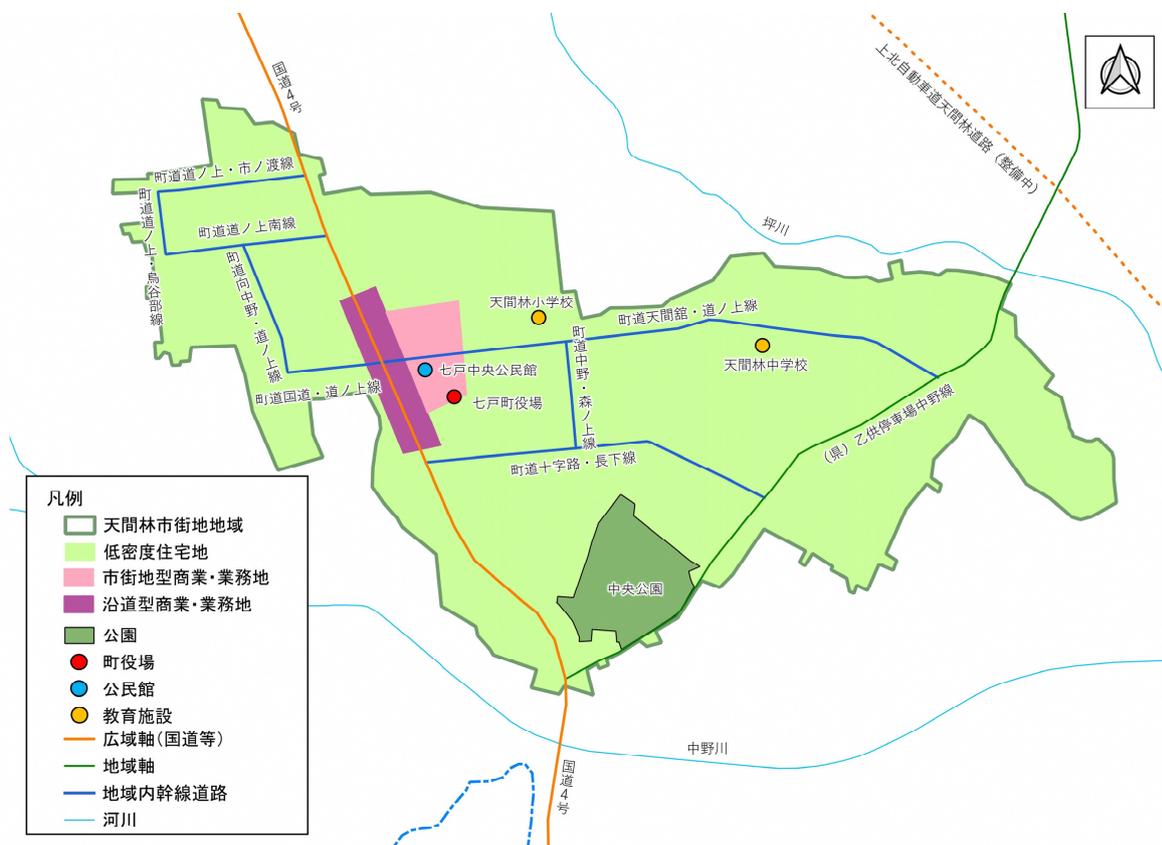
#### 4) その他の地域づくりの方針

- 公共下水道の全体計画及び事業計画の見直しを行い、計画的な整備の推進と整備された下水道施設の利用を促進することで、水洗化率の向上を図り、施設の適正な維持管理に努めます。
- 国道4号の花壇への植栽、維持管理など、住民の自発的な美化活動を支援し、緑豊かな街並みの形成に努めます。
- 中央公園は、住民が緑とふれあうことのできる憩いの場であるとともに、スポーツや交流イベントの場として有効活用を図り、施設のバリアフリー化など住民の要望に応える整備、住民との協働による維持・管理を推進します。



七戸町役場

### 地域づくりの方針図（天間林市街地地域）



## Ⅲ. 田園集落地域

### (1) 地域の現況

#### ① 位置と概況

- 本地域は、七戸市街地地域と天間林市街地地域を除いた農村部に位置し、地域の中央部を国道4号が南北に縦断しており、国道394号が東西に横断しています。
- 本地域は主に田畑、牧場及び樹林地で構成され、八幡岳を源とする多くの河川が地域内を西側から東側に流れ小川原湖に注ぎ込んでいます。
- 本地域の広大な農地の中に、既成集落が点在しています。

#### ② 都市計画の概況

- 本地域は、七戸都市計画区域内の用途地域が指定されていない地域（以下、白地地域という。）と都市計画区域が指定されていない天間林地区の農村部に位置します。
- 本地域の北部では、国道4号を起点としてみちのく有料道路が整備されており、さらには、上北自動車道や下北半島縦貫道路といった高規格道路の整備が予定されている交通の要衝として位置づけられています。
- 本地域の西側には広大な山林が広がっています。

表 5-3-1 主要な都市施設等の状況

主要な道路	国道4号、国道394号、みちのく有料道路、上北自動車道、主要地方道三沢七戸線、県道乙供停車場中野線、県道七戸十和田湖線、町道横町・蛇坂・荒熊内線
鉄道駅	—
主要な公園・緑地	柏葉公園、七戸町総合運動公園、尾山頭ふれあいの森公園、二ツ森貝塚史跡公園
主要な河川	坪川、中野川、高瀬川（七戸川）、作田川、道地川、大林川
主要な施設	公立中央消防署、七戸警察署、青森県営農高等学校、七戸中学校

## (2) 地域の特性と課題

本地域の特性と課題について、地域の現況、住民アンケート調査の結果等を踏まえてまとめると以下ようになります。

### ○地域の現況

- 坪川など河川の自然、広大な水田の田園風景、牧場などの牧歌的風景
- 奥州街道や牧場の松並木、二ツ森貝塚等の歴史的資源
- 七戸町の基幹産業である農業を支える既存集落が点在
- 北部は国道4号や高規格道路の交通結節点として位置づけ

### ○住民アンケート調査結果

- 用水路や農道などの積極的整備と農地の保全
- 現況に対応したインフラ整備や交通利便性向上
- 自然的風景、歴史的風景、史跡などの文化財への誇り

### ○特性

- 本地域は小さい既存集落が点在し、人口密度が低く高齢化が進んでいます。
- 本地域は七戸町の基幹産業である農業を振興するための重要な地域です。
- 七戸町の自然や歴史を感じることができる景観や自然環境が豊富な地域です。

### ○課題

- 本地域は小さいコミュニティで形成される集落が多いため、少子高齢化と人口減少の影響を大きく受けており、集落の存続が懸念されます。
- 本地域は七戸町の基幹産業である農業を振興するための重要な地域であり、優良農地の保全が必要です。
- 自然環境が多く、のどかな農村風景を維持することが必要です。
- 少子高齢化社会に向けて、コミュニティバス等の交通利便性の向上により、市街地との連携強化とともに居住環境の維持が必要です。

### (3) 地域の将来像と地域づくりの方針

#### ① 地域の将来像

本地域は、七戸町の基幹産業である農業を振興することにより七戸町の活性化を担う地域であり、豊かな自然環境や農地を保全し、良好な農村の形成及び健全な農業の発展を図ります。

以上のことを踏まえて、本地域の将来像を以下のように定めます。

～田園集落地域の将来像～

豊かな自然と共生し安心して暮らせるまち

#### ② 地域づくりの方針

##### 1) 土地利用の方針

- ・本地域は、農業振興地域整備計画に基づき農業の振興を図るため、農業生産の基盤である豊かな自然環境や農地を保全し、都市的な土地利用を抑制します。

##### 2) 集落地整備の方針

- ・集落地における日常生活の利便性を確保するため、周辺の自然環境に配慮しつつ生活道路の整備改良に努めるとともに、コミュニティセンター等生活関連施設の充実を図ります。

### 3) 交通体系の方針

- 上北自動車道及び下北半島縦貫道路の整備促進により、国道4号、国道394号及びみちのく有料道路と併せて広域連携道路ネットワークの構築を図り、県域全体にわたる交流・連携の強化を推進します。
- 地域間の連携強化及び防災機能向上を図るため、地域連携道路の整備に努めます。
- 地域内の生活道路は、緊急車両の交通確保などの防災機能向上、危険箇所の改善、冬期間の事故防止対策などについて、総合的に検討し、通勤・通学路など利用度の高い道路は、優先的に安全性を高める道路施設の設置、冬期間の除雪体制の強化を促進するとともに、安全・安心で快適な道路機能の確保を図ります。
- 田園集落地域から市街地への交通体系の維持及び市街地間の交通アクセス向上を図ることで、住民が生活サービスを受けることができる環境の維持に努めます。

### 4) その他の地域づくりの方針

- 農業集落排水、浄化槽等の整備推進により、河川等の水質保全を図ります。
- 七戸町の原風景である美しい田園風景や奥羽牧場・ハッピーファーム等の牧歌的風景を守るため、農地や歴史的価値を有する松並木、屋敷林の保全を図ります。
- ニツ森貝塚等の文化財は、歴史的価値を有する資源であり観光資源でもあるため、維持・保全を図ります。
- 住民の憩いの場である河川や公園については、住民、企業等及び行政が協働で維持管理を実施する体制作りを推進します。



奥羽牧場



ニツ森貝塚

地域づくりの方針図（田園集落地域）

